南アルプス市 平成 25 年度

## 事務事業マネジメントシート

Ē	南アルプス市	平成	25	年度(	→ かかままり (東京) 予算編成		計画省	<b>子料</b>	1	F成日 H	26 年	<b>≡</b> 3 .	月	日作月	或.
事務事業名		巨摩保育所保育活動費			所属部局 所属課室 所属担当		保健福祉部			単位番号		5144			
		已摩休育/// 保育// 店店 期貸 <b>▽ 実施計画事業</b>					巨摩保育所 巨摩保育所			課長名 担当者名		笠井るり子 笠井るり子			
		# I	V			<b>三</b> 美施計画事業			会記		款	担当有名	目	翌井るり 細目	一─────────────────────────────────────
	基本政策	本	-	快適で心のかより	ハあう都市づくり		予算	科目	01	一般	03	02	04	040	06
	政 策	画	.7	社会福祉の充実			事業	公		国の制度によ 県の制度によ	る義務	的事業「	補具	没等維持管 助金交付事	業
	施策	体 系	28	児童福祉の充実			7.70		_	†の制度によ 義務化されて					Ę
	中 类 扣 目	□ 単:	年度のみ	み ☑ 単年度繰過	区(開始年度	:+ 🛆	+FI +hn		記載福祉法、					条例	
	事業期間 □ 単年度のみ ▶ 単年度機能			~	法令根拠 南アルプス市立保育所条例 保育指針							針			
事務							事業費	『の王』 目(細管	な内i 節)	沢 ( 25年 金額(千	· <b>度</b> ・み 円)	等見込 項目(約	) 田節)	金額	(千円)
事	等印刷代、教材·器	保育所嘱託医報償、講師謝礼、教材等消耗品、祖父母との交流事業食料費、保育証書 等印刷代、教材・器具等修理代、給食賄い費、児童ぎょう虫等検査料、職員検便検査料、					- 項目(細節) 金額(千円) 項目 報償金 341 修繕費 普通旅費 10 期材料					147 費 4,442			
業の	バス借上料、職員研修負担金等 児童保育に関わる運 営経費 児童数の増減が影響する。					普通旅費     10 賄材料費       消耗品費     1,910 手数料       食糧費     25 負担金補助交付金       印刷製本費     67									
概											金	294 17			
要	l						印刷製	本費			67	計			7,253
1			F												
	(1) 事務事業の目的と指標 (1) 活動						1 [	⑤ 活	動指	標(事務事業	の活動	量を表す	指標)	数字は記入	しない
	5万英江科中结	•保育》	舌動事業	業にかかる予算の勢 ! タ系ま業の執行	衍	] [		名称 種事業数			<b>単位</b> 円				
		・児童( ・ <u></u> - 促査)	ご関わる 生動車≧	各種事業の執行	1行	⇒	ア合								
	6年度活動予定	・児童(	こ関わる	各種事業の執行(	リトミック教室・絵本	読み聞かせ等)	] [	ウ							
2	対象(この事務事	業は	推、何を	E対象にしている(	<mark>のか) * 人や自然</mark>	<b>資源等</b>		⑥ 対	象指	<del>慓(対象の大</del> 名称	きさを	表す指標)	数字に	<mark>は記入しなし</mark> 単位	۱, ۱
(I)	入所児童						l _,	<b>ア</b> 児:	童数					<u>早14</u> 人	
2	保育所保護者						⇒	ア 児 <b>イ</b> 保	護者	数				人	
(3)	意図(この事務事	業により	り対象を	どのような状態にし	ていくのか、どの。	ように変えるのか)		ウ ⑦ 成!	果指	標(対象におけ	る意図	の達成度を	表す指	標)数字は記	己入しない
							] [			名称				単位	
児:	童が健やかに育つ						⇒	ア 半	園児	重数				人	
	1454/10	- 4. /-	- E ! - /-	+-×11117.01.				ウー	/ L _ L			·····	lle læ	W 1	
(4)	上位目的(どのよ	うな紀	果に新	が付けるのか)				8) 上1	<b>区</b> 及:	果 <u>指標(結果</u> 名称	の達り	区度を表す	指標)	数字は記力 単位	人しない
児	童福祉の充実						⇒	ア保	育所	に満足してい	へる保	護者数		人	
1															
L							] ~ [	1							
	事業費・指標の持	 隹移	単位	23年度	24年度	25年度	26	年度		27年度	,	28年月		最終	年度
(2)	事業費・指標の打	出金		23年度 (決算·実績)	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算見込·実績)	26	イ <u>:</u> 年度 章·目標)	)	27年度 (計画·目標	)	28年月 (計画·目		最終(トータルコス	
(2) 年	事業費・指標の打	出金	千円 千円				26		)		)				
(2) 年	事業費・指標の対 財 国庫支 事源 県支出 業内 地方	出金  金  責	千円 千円				26		)		)				
(2) 年間トー	事業費・指標の打 事業 内 でのである。 事業 でのである。 本でのである。 一般的	出金	千円 千円 千円 千円 千円	(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込·実績)	26	章·目標) 8,2	59				標)		スト・目標)
(2) 年間	事業費・指標の打 事業内 でである。 事業内 でである。 事業費計	出金  金  責  也 	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 6,216 6,216	(決算·実績) 7,151 7,151	(決算見込・実績)	26	草・目標)	59 59		0				
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の打 事業内 アウス (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	出金 責 也 (A) 手人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込·実績)	26	章·目標) 8,2	59 59 8				標)		スト・目標)
(2) 年間トータ	事業費・指標の打 事業 費	出金 責 也 (A) 手人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 6,216 6,216 6,216 8 14,700 66,900	(決算·実績)  7,151  7,151  8  14,700  66,900	9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900	26	<ul><li>第・目標)</li><li>8,2</li><li>8,2</li><li>14,7</li><li>66,9</li></ul>	59 59 8 00		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の打 事業内 アウス (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	出金 責 也 (A) 手人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 6,216 6,216 8 14,700	(決算·実績)  7,151  7,151  8  14,700	(決算見込·実績) 9,190 9,190 9,190 8 14,700	26 (予算	第·目標) 8,2 8,2 14,7	59 59 8 00 00 59		0		<del>標)</del> 0		スト・目標)
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の打 事業 費	出金	千円 千円 千円 千円 千八 時間 千円	(決算·実績) 6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116	7,151 7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051	9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1	59 59 8 00 00 59		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の対 事業費・指標の対 事業内 でのが、 事業費員従事業務員 人件費計 (A)+(B)	出金   造   し   (A)   5 情   (B)   アイウ	千円 千円 千円 千円 千八 時間 千円	(決算·実績) 6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116	7,151 7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051	9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 00 00 59		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の対 事業費・指標の対 事業内 でのが、 事業費員従事業務員 人件費計 (A)+(B)	出金   造   し   (A)   (B)   アイウア	千円 千円 千円 千円 千八 時間 千円	(決算·実績)  6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116 6,216,000.0	7,151 7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0	9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 00 00 59		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の打 事業費 事業 は	出金 (金 情) (A) (A) (B) アイウアイウアイウアイウ	千円円円 千千八 時千千円 人人	(決算·実績) 6,216 6,216 8,14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0	(決算·実績)  7,151  7,151  8  14,700 66,900 74,051  7,084,000.0  151.0  130.0	(決算見込·実績)  9,190  9,190  9,190  8  14,700  66,900  76,090  7,084,000.0  150.0  130.0	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 8 00 00 59 0.0 0.0		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の打 事業費 事業 は	出金   情   し源   (A) 数   アイウアイウア	千円 千円 千円 千円 千円 八 時 1 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績) 6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116 6,216,000.0	7,151 7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0	9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 7,084,000.0	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 00 00 59 0.0		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の打 事業内 事業内 事業職員業費計 (A)+(B) 活動指標 対象指標	出金   造   し   (A) 数   (B)	千円	(決算·実績) 6,216 6,216 8,14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0	(決算·実績)  7,151  7,151  8  14,700 66,900 74,051  7,084,000.0  151.0  130.0	(決算見込·実績)  9,190  9,190  9,190  8  14,700  66,900  76,090  7,084,000.0  150.0  130.0	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 8 00 00 59 0.0 0.0		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の打 事業費 計 事業職員 事業職員業務計 人件費 人件費 人件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費計 (A)+(B)	出金   情   し源   (A) 数   アイウアイウア	千円円円 千千八 時千千円 人人	(決算·実績) 6,216 6,216 8,14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0	(決算·実績)  7,151  7,151  8  14,700 66,900 74,051  7,084,000.0  151.0  130.0	(決算見込·実績)  9,190  9,190  9,190  8  14,700  66,900  76,090  7,084,000.0  150.0  130.0	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 8 00 00 59 0.0 0.0		0		<b>標)</b> 0 0		0
(2) 年間トータルコスト	事業費・指標の打 事業費 財源内 事業職で大子のが 事業職で大学を表現で、一一、 事業職で大学を表現で、一一、 事業職で大学を表現で、一一、 事業職で大学を表現で、一一、 (A)+(B) 活動指標 対象指標 大は、果指標 は、果指標である。 は、またので、 は、この事務事業を見	出金   (A) 数	千円円 千八 時間 千八 時間 千八 一人 人 人 人 (状况(	(決算·実績) 6,216 6,216 8,14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0 34.0	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0  151.0 130.0  26.0	(決算見込·実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 00 00 59 0.0 59 0.0	(計画·目標	0	(計画・目	(標)	(トータルコス	0 0 0
(2) 年間トータルコスト	事業費・指標の計 事業費 財源内 事業職で表別でのの 事業職で大学を表別である。 事業職で大学を表別である。 事業職で大学を表別である。 「一世費員業費計では、 (A)+(B)  活動指標  対象指標  対象指標  上位 事務事業はいる。 この事務事業はいる。	出金   (A) 数	千円円 千八 時間 千八 時間 千八 一人 人 人 人 (状况(	(決算·実績)  6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116 6,216,000.0  143.0 120.0  34.0	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0  151.0 130.0  26.0	(決算見込·実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0	26 (予算	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00	59 59 8 00 00 59 0.0 59 0.0	(計画·目標	0	(計画・目	(標)	(トータルコス	0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ①	事業費・指標の対 事業内 別源内訳 事業職所の 事業職員 大子のの 事業職員業務計 (A)+(B) 活動指標 対象指標 対象指標 上位成果指標 この事務事業はいか?	出金 (A) (A) (B) (B) (B) (B) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千千八時千千円 人人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	(決算・実績) 6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0 34.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0  151.0 130.0  26.0	(決算見込・実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0  R意見等	26 (予算 7,5 1) 7,5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	第,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00 16 13	59 59 8 00 00 59 0.0 5,0 9,0	(計画・目標	0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	活動を現	(標)	(トータルコス	0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ① (2)	事業費・指標の計 事業費 財源 国庫支出方(一般計 事規職で大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	出金 情他 (A) (A) (B) アイウアイウアイ 巻と り頃 沢沢っ	千円円円でする。一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一	(決算・実績) 6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 120.0 34.0 34.0 対象者・社会状況障で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は?	(決算・実績)	(決算見込・実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0  R意見等 和27年4月に周辺	26 (予算 7,0 で見童(	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00 16 13 3	59 59 8 00 00 59 0.0 0.0 9.0 場所社	(計画・目標 :して開所され は151名で演	0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	活動を現	<b>標)</b> 0 0 0 0 text	で あまで行っ	0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ①	事業費・指標の計 事業費 財源 国庫支出方(一般計 事規職で大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	出金 (A) (A) (B) (B) (D) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	千千千人間円円円一人間円円円一人間円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0 34.0 34.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0  151.0 130.0  26.0  26.0  上等)の変化、市長 巨摩保育所は、昭 る。	(決算見込・実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0  R意見等 和27年4月に周辺	26 (予算 7,0 で見童(	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00 16 13 3	59 59 8 00 00 59 0.0 0.0 9.0 場所社	(計画・目標 :して開所され は151名で演	0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	活動を現	<b>標)</b> 0 0 0 0 text	で あまで行っ	0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) 1 (2) (3) (4)	事業費・指標の対 事業内訳 国庫支出 地での 事業 内	出る (A) 関	千千千人時千千円 人人 人 状な 開また民寄	(決算・実績) 6,216 6,216 8 14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0 34.0 34.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0 151.0 130.0 26.0 26.0 26.0 現在、巨摩保育所は、昭る。現在、巨摩保育所	(決算見込・実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0 37.0  に対することに	26 (予算 7,( 7,( であるが、 全面を考	8,2       8,2       8,2       8,7       66,9       75,1       084,00	59 59 8 00 00 00 59 0.0 0.0 5,0 9.0 場所さ	(計画・目標 にして開所されば151名で海 は151名で海	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	活動を現りにある。	標) 0 0 0 0 0 0 意見(	で あまで行っ	0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ① ② ③ (4) ①	事業費・指標の打票の打票の打票。   事業費   財源   事実内訳   事規職で支出が   事規職で支出が   本代表   本代表表   本代表   本代表表   本代表   本代表表   本代表   本代表表	出金 (A) (B) アイウアイウアイ り頃 (別) イン (A) (B) アイウアイウアイ 巻 ど (別) イン (A)	千千千八時千千円 人人 人 (状なを始れて) はまたに、寄れている。 (別なながら) はっている はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	(決算・実績) 6,216 6,216 8,14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0 34.0 対象者・社会状況障で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議せられているか?	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0  151.0 130.0  26.0  26.0  現在、巨摩保育所は、昭 る。 現在、巨摩保育所	(決算見込・実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0 37.0  *** *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	26 (予算 7,( かあるが、 全面を考	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00 16 13 3	559 59 8 00 00 59 0.0 0.0 55,0 9.0 9.0 東 数 り	(計画・目標 には151名で演 は151名で演 組みしてい	0 0 0 0 は、保育 は少傾に との保	「活動を現りにある。	標) 0 0 0 0 0 0 意見(	で あまで行っ	0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ① ② ③ (4) ①	事業費・指標の打票を表して、「一般計算。」	出金 ・	千千千八時千千円 人人 人 人 はまたに、 ないは、 は、 は	(決算・実績) 6,216 6,216 8,14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0 34.0 対象者・社会状汚障で開始されたの 特または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議せられているか?	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0  151.0 130.0  26.0  26.0  現在、巨摩保育所は、昭 る。 現在、巨摩保育所	(決算見込・実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 76,090 7,084,000.0 130.0 37.0 37.0  に対することに	26 (予算 7,( かあるが、 全面を考	8,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00 16 13 3	559 59 8 00 00 59 0.0 0.0 55,0 9.0 9.0 東 数 り	(計画・目標 には151名で演 は151名で演 組みしてい	0 0 0 0 は、保育 は少傾に との保	「活動を現りにある。	標) 0 0 0 0 0 0 意見(	で あまで行っ	0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) (1) (2) (3) (4) (1) (2)	事業費・指標の打票の打票の打票。   事業費   財源   事実内訳   事規職で支出が   事規職で支出が   本代表   本代表表   本代表   本代表表   本代表   本代表表   本代表   本代表表	出金 ・	千千千十八時千千円 人人 人 別に経れている。	(決算・実績) 6,216 6,216 8,14,700 66,900 73,116 6,216,000.0 143.0 120.0 34.0 34.0 対象者・社会状況 韓で開始されたの 等または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議せられているか?	(決算・実績)  7,151 7,151 8 14,700 66,900 74,051 7,084,000.0  151.0 130.0  26.0  26.0  現在、巨摩保育所は、昭 る。 現在、巨摩保育所	(決算見込・実績)  9,190 9,190 9,190 8 14,700 66,900 7,084,000.0 130.0 37.0 37.0  ま意見等 和27年4月に周辺 の定員は220名で いが、子どもの安全	26 (予算 7,( であるが、 全面を考 を加えば、	第,2 8,2 8,2 14,7 66,9 75,1 084,00 16 13 3 4 2 2 2 5 8 8 2 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 9 7 8 9 8 9 8 9	59 59 8 00 00 59 0.0 0.0 5,0 9.0 9.0 第 第 第 数 で う う う の り の り の り の り の り の り の り の り の	(計画・目標 として開所され は151名で演 はMみしてい 協議し、対応	0 0 0 0 0 は、保育 との保言	(計画・目 が活動を現 句にある。 後者からの	標) 0 0 0 0 が意見に	(トータルコ2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	O O O O O O O O O O O O O O

	事務事業名	巨摩保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	巨摩保	<b></b> 香所			
_				NU WE ITH ITH	八四杯	一手小	13121			
	評価(Check1)担当者によ ①政策体系との整合性	る事後評価(複数年度事業は途中評価 □ 結びついていない(見直し余地がある)		3評価(Check2)	•4今後の方面	句性に反映				
目	この事務事業の目的は市の政策体の施策に結びつき、貢献しているか	<b>系 ☑</b> 結びついている ⇒【理由↓】								
	の他東に結びつぎ、貝献しているか 意図が上位目的に結びついている。	この事業は、市の政策体系の中でも重要施策である児童福祉の充実に位置づけられている。生計を維持するために働いている勤労者世帯に対し、子どもの保育場所の確保が重要であり、その児童が健全に成長できるよう保育活動事業を行って								
	②公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由↓】	⇒ 3評価(Che	eck2)・4今後の方	句性に反映					
妥	この事務事業を税金を投入して市かわなければならないのか?	<ul><li>✓ 妥当である ⇒【理由↓】</li><li>昨今の少子化問題のひとつである保育所場所の確保は、、国を挙げて対策を講じており、最優先課題として挙げられてい</li></ul>								
当性	  民間やNPO、市民協働に移行する	る。市の施策についても同様であるため、公共関与は妥当である。								
評	は可能か?	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働								
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて	<ul><li>見直し余地がある ⇒【理由↓】</li><li>ば、こ ✓ 適切である ⇒【理由↓】</li></ul>	⇒ 3評価(Che	eck2)・4今後の方	句性に反映					
	の事務事業を将来にわたり、維持・していくことは妥当か?目的や事業	継続 事業の必要性は高く、今後も多くのニーズの	事業の必要性は高く、今後も多くのニーズの中から保育目標に合った事業を行っていく。							
	要性を見直す余地はあるか?									
	④ 成果の向上余地	<ul><li>□ かなり向上余地がある ⇒【理由</li><li>☑ ある程度向上余地がある ⇒【理由</li></ul>		⊞(Check2)∙4今≀ ≣(Check2)∙4今≀						
	今後さらに事務事業の成果を向上さることはできるか?できない場合は	「「「向上余地がない ⇒【理由	↓ <b>1</b>	_, , , , ,						
	原因でできないのか?	保育活動については、様々な活動方法があ 育所では、子どもたちの情操教育を重視し、								
有	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可				A C C U I R I ME I	V KIN D 7 X	=-0.7/ .			
効	類似した目的を持つ事務事業が他に		閏由と具体案↓】	⇒ 3評価(Ch	eck2) • 4 今後	後の方向性に	こ反映			
性評	るか?類似事務事業がある場合、る事務事業との統合や連携を図ること	その ☑ 統合・連携ができない ⇒【珥	且由↓】		100K2, 17g	C - > > 3   1-3   ± 1	-22			
	事務事業との統合や連携を図ることできるか?	ごは 子ども子育て新システムにより「総合施設」と ■ 類似事務事業がない	して位置つけられて	、VK甲で検討される。						
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び 止・廃止の可能性	「 <mark>休</mark> □ 影響なし ▼ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】		休止・廃止ができる 休止・廃止できない		ı				
	この事務事業を休止・廃止した場合	よ 保育活動事業を休止した場合は、児童保育	に対する安全 児							
	響はあるか?また成果から考えて、 止・廃止することはできるか?	休 管理の確保が出来なくなるとともに、廃止して 者の勤労が困難になり生活維持が出来なく								
	⑦事業費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体》	- :	評価(Check2)・4	今後の方向性	に反映				
廾	成果を下げずに事業費(コスト)を削	<ul><li>✓ 削減余地がない ⇒【理由↓】</li><li> 減</li><li>これ以上の削減はできない状況である。</li></ul>								
効率	できないか?(仕様や工法の適正化住民の協力など)									
性評	⑧ 人件費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体》	案↓】 ⇒ 3	評価(Check2)・4	今後の方向性	に反映				
価	成果を下げず人件費を削減できないか?(事業のやり方の見直しによる		臨時職員の比率が	トがっている						
	時間の削減や臨時職員対応や外部		MM FN 1984 只マンルコギル*	<u> </u>						
公	託による削減はできるか?) ③ 受益機会・受益者負担の適正化	余 □ 見直し余地がある ⇒【理由・具体》	案↓】 ⇒ 3	評価(Check2)・4	今後の方向性	に反映				
平		☑ 公平・公正である ⇒【理由↓】			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
埀	ていないか?受益者負担を見直す。		入所児童には公平公正である。							
	はないか?公平公正か?	1.2. 1.2. 1.2. 1.2. 1.2. 1.2. 1.2. 1.2.								
	評価(Check2)担当課管理 1次評価者としての評価結果	者による評価結果と総括  (2)1次評価の総括(事務	事業を実施した結り	見を振り返り気づいた	그는 課題 숙설	の方向性等	(こついて)			
	① 目的妥当性 <b>☑</b> 適切 □ 見	直し会地あり 児童福祉をより充実して行う	ために、巨摩保育所	fは、子どもたちの情捷	桑教育に力を入.	れて事業を行	<sub>了ってきた。</sub>			
	② 有効性 🔽 適切 🗆 見	である。リトミック教室や、伝え <b>直し余地あり</b> るような事業を行っていく。	今後も、リトミック教室や、絵本の読み聞かせを積極的に取り入れ、子どもたちが元気に保育所生活をおくれ							
③ 効率性    ☑ 適切   □ 見直し余地あり										
④ 公平性										
	今後の方向性(事務事業担当			1,	L++ -! <del>-</del>	7 4 4 11				
	<ul><li>う後の事務事業の方向性(Ch 廃止(目的妥当性①、②、③の結果</li></ul>	eck1の結果から定める)・・・複数選択可 ) □ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) □	公平性改善(公平		改革・改善によ	る万同性				
_	休止(目的妥当性①、②、③の結果		」以「性数点(女」 」現状維持(全評価		<b>\</b>	コスト水準				
		の結果) 🗌 コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)			判減	維持 増	加			
(2 ①信	<mark>)改革改善案について</mark> 保育士が子どもとかかわる時間がとれ	るように保育所内の事務事業の見直し。		<u></u>	向 □					
Žť	地域(小学校)・保護者との連携の中	で特色ある保育を行う。	バニボ 月川 バンザが ザ未ツ だ胆し。 色ある保育を行う。			果維一				
					水持					
					下一	の担合はち	1 T TT			
(4)	改革改善を実現する上で解決す	「べき課題とその解決策			※ 廃止·休山 事務事業優先度					
1)=	事務事業を効率的に行うことに対して	保護者の理解を得ること。園だよりや、クラスだより をかけ、地域の資源や人材を有効活用する。	)等でお知らせする。		<b>!</b> 優先度評価約	洁里	2			
٤٠		C V. C. W. C. V. W. C. L. WILLII J. J.		沙人名	、 後ル及計画で	山木	<i>\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ </i>			

コスト削減優先度評価結果

11)